

Business
Report

へんしゅ

第54期 中間期 / [2024年4月1日~2024年9月30日]



兼松エンジニアリング株式会社

証券コード: 6402

2トン高圧洗浄車
(JS-02W1518K(S))



代表取締役社長

山本 琴一



代表取締役専務

柳井 仁司

CONTENTS

- 1 ごあいさつ
 -
- 2～3 財務ハイライト
 -
- 4 財務諸表
 -
- 5～6 事業概要
 -
- 7 製品トピックス
 -
- 8～9 トピックス
 -
- 10 会社情報

表題 へんしも(土佐弁)の解説

「へんしも」とは土佐弁で「早く」「急いで」の意。
スピーディーな情報開示の想いです。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、平素より、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第54期中間期決算のご報告として「BUSINESS REPORTへんしも」を
お届けいたします。

中期経営計画・第54期全社活動方針

当期は、中期経営計画(3ヵ年)「**変革**」の最終年度であり、重点実施事項
としまして

1. [顧客志向]

お客様を知り、お客様の求めるものを正確に把握し、相互理解を深めて
期待を超える成果を提供する。

2. [人材]

働き甲斐のある職場とワークライフバランスを実現する。

3. [品質]

自工程と次工程に責任を持ち、高品質を追求する。

4. [効率]

新生産体制確立と新基幹システム活用で生産性を高め、収益力を
向上させる。

5. [企業価値]

SDGsへの取り組みにより、社会に貢献する。

に取り組んでおります。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し
上げます。

2024年11月

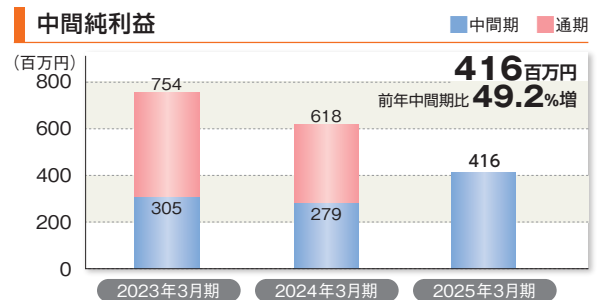
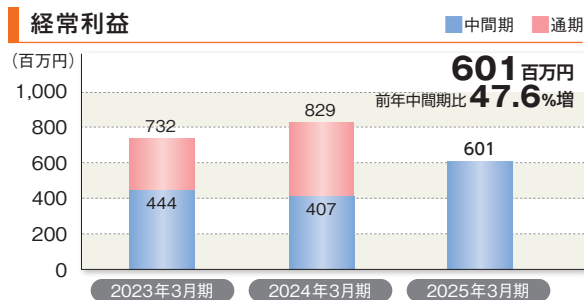
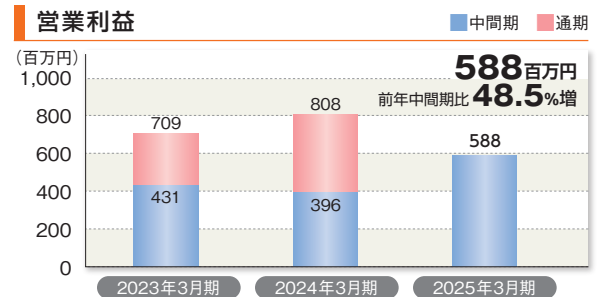
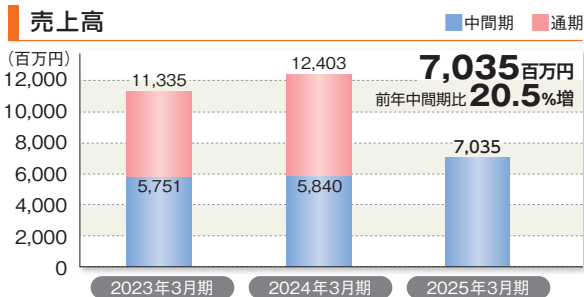
営業の概況等

当中間会計期間における我が国経済は、物価高への懸念及びコロナ禍明けのサービス支出の回復の一巡など、個人消費は伸び悩みましたが、企業収益は好調であり、省力化及びデジタル化に向けた設備投資は引き続き旺盛で、インフラ整備の工事拡大など景気は緩やかに回復しております。

かかる状況下、当中間会計期間は、シャシの入庫も進み主力製品の需要は堅調に推移し、特に大型機種の販売の増加により前年中間期比増収・増益の結果となりました。

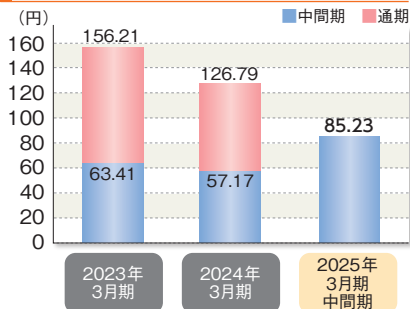
業績（数値）につきましては、前中間会計期間に比べ受注高は1,213百万円減の7,079百万円（前年中間期比14.6%減）、売上高は1,195百万円増の7,035百万円（前年中間期比20.5%増）となりました。損益につきましては、営業利益は192百万円増の588百万円（前年中間期比48.5%増）、経常利益は193百万円増の601百万円（前年中間期比47.6%増）、中間純利益は137百万円増の416百万円（前年中間期比49.2%増）を計上することとなりました。

2025年3月期中間期の業績ハイライト

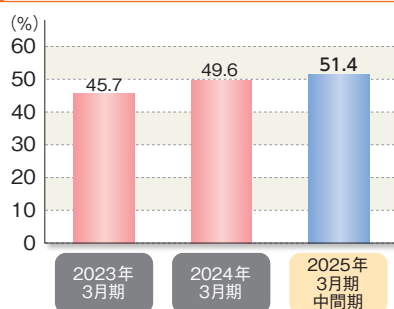


財務分析指標の推移

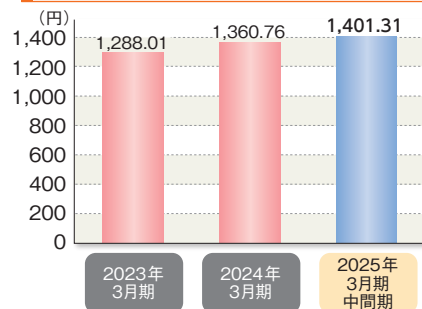
1株当たり純利益



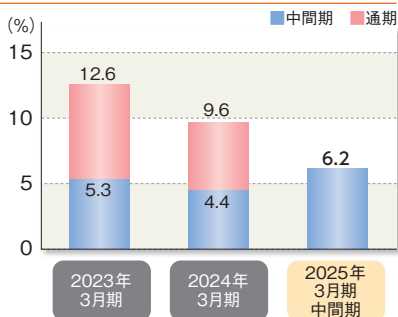
自己資本比率



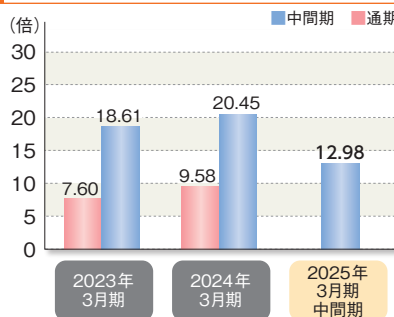
1株当たり純資産



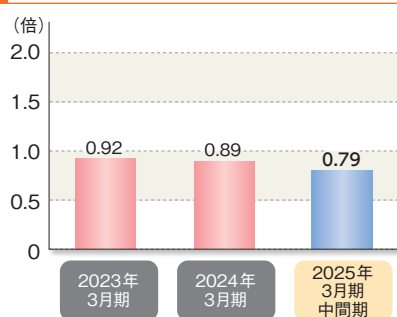
ROE (自己資本利益率)



PER (株価収益率)



PBR (株価純資産倍率)



通期業績予想

項目	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
通期予想	12,500百万円	830百万円	850百万円	590百万円	120円88銭

財務諸表

貸借対照表

(単位:千円)

科 目	当中間期末 (2024年9月30日)	前 期 末 (2024年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	7,868,418	7,779,430
固定資産	5,456,044	5,603,741
有形固定資産	4,815,590	4,923,800
無形固定資産	273,541	311,255
投資その他の資産	366,913	368,684
資産合計	13,324,463	13,383,171
(負債の部)		
流動負債	4,840,433	4,953,547
固定負債	1,632,400	1,787,678
負債合計	6,472,834	6,741,225
(純資産の部)		
株主資本	6,850,030	6,637,787
資本金	313,700	313,700
資本剰余金	356,021	356,021
利益剰余金	6,997,432	6,796,063
自己株式	△ 817,123	△ 827,998
評価・換算差額等	1,599	4,158
純資産合計	6,851,629	6,641,945
負債純資産合計	13,324,463	13,383,171

損益計算書

(単位:千円)

科 目	当中間期 (自 2024年4月 1 日 至 2024年9月30日)	前中間期 (自 2023年4月 1 日 至 2023年9月30日)
売上高	7,035,674	5,840,000
売上原価	5,402,336	4,506,434
売上総利益	1,633,338	1,333,565
販売費及び一般管理費	1,044,568	937,185
営業利益	588,770	396,380
営業外収益	17,891	14,923
営業外費用	5,256	3,721
経常利益	601,405	407,582
特別利益	18	—
特別損失	0	44
税引前中間純利益	601,423	407,537
法人税等	185,046	128,483
中間純利益	416,377	279,054

キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科 目	当中間期 (自 2024年4月 1 日 至 2024年9月30日)	前中間期 (自 2023年4月 1 日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,354,589	655,133
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 40,820	△ 83,479
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 387,232	△ 440,192
現金及び現金同等物の増減額	926,536	131,461
現金及び現金同等物の期首残高	1,092,714	1,970,739
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,019,250	2,102,201

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

当社は環境整備機器の製造販売を行っています。
 その中でも産業廃棄物処理関係が主体であり、各種製品の特徴及び売上推移は、次の通りです。

強力吸引作業車・汚泥吸引作業車

売上高 **5,256**百万円

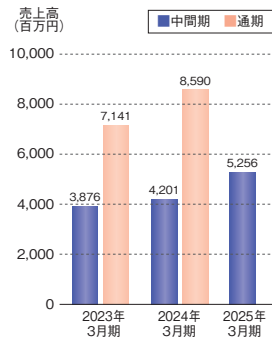
国内最大シェアを占め、産業廃棄物等の収集運搬に用いられるとともに、
 様々な付加機能により用途を広げています。

〈用途〉

- 廃棄物の収集運搬
- 汚泥の高揚程回収
- 汚泥の長距離吸引



超強力吸引作業車 (NSR-13BWP)

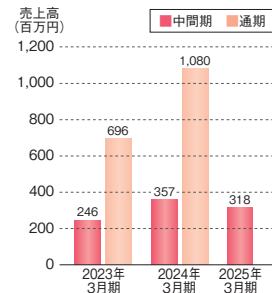


強力吸引作業車 (SM-13CVP)

新製品等/その他

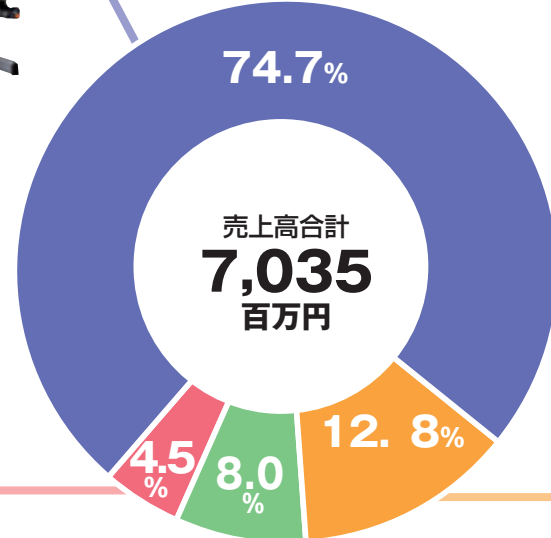
売上高 **318**百万円

新製品や主要区分に属さない製品及び修理等が含まれています。



放散水車 (AR-70P)

**製品別売上高
構成比**



高圧洗浄車・ビルメンテナンス用清掃車

売上高 **902**百万円

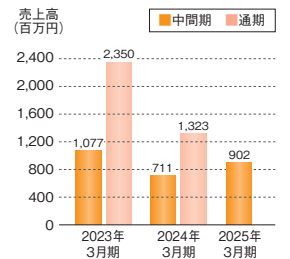
高性能の実現と誰にでも使用できる使い易さで市場に浸透しています。強力吸引作業車に次ぐ当社第2の主力製品

〈用途〉

- 下水道管の洗浄
- ビル配管システムのメンテナンス
- 熱交換器の清掃



高圧洗浄車 (JS-05W1825A)



粉粒体吸引・圧送車

(当中間期に売上はありませんでした)

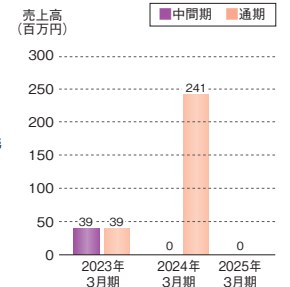
吸引機能と加圧圧送機能を組み合わせ、粉粒体の長距離・高所搬送を行います。

〈用途〉

- 石灰・セメント・原料等
粉粒体の回収・高所搬送



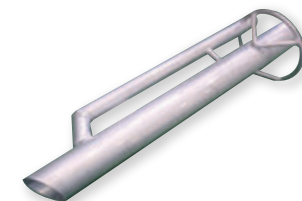
粉粒体吸引圧送車 (SM-16BVYT)



部品販売

売上高 **558**百万円

当社製品に関連する部品の売上げです。



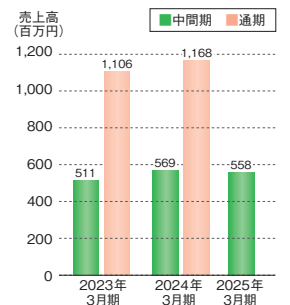
2次付きアタッチメント
(吸引アタッチメント)



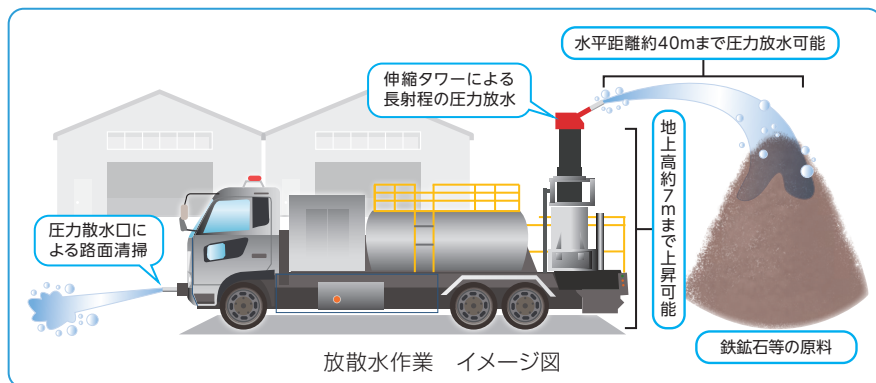
パワースライドノズル
(回転式ノズル)



メスリング付差込ジョイント



放散水車 (AR-70P)



伸縮タワー 7m上昇時

本製品は、車両前方に道路清掃用の圧力散水口を搭載し、車両後方には伸縮タワー式放水銃を備えた、多用途に使用可能な車両です。

最大の特徴である伸縮タワーは、地上高約7mまで上昇し、水平距離で約40mの圧力放水が可能です。稼働現場である製鉄所構内では、山積みされた鉄鉱石に対して、このタワーより圧力放水し、加湿することで粉じんの飛散を防止します。それにより、構内の安全衛生の一翼を担っています。

●全社員総会 開催

2024年7月26日、当社では初めての試みとなる全社員総会を開催しました。これは全社員が、今後の会社の方向性を共有する事を主目的としたものです。

社員の健康維持のためのヘルスリテラシー向上セミナーを受講した後は、第53期の事業運営を振り返り、そして第55期以降の事業運営の要となる新中期経営計画案が発信され、企業としての未来への気持ちを一丸としました。

これからも全社員で歩むべき方向を一致させ、社業にまい進いたします。



全社員総会

●インドネシア 下水道維持管理に関する案件化調査

JICA(独立行政法人国際協力機構)の支援制度の下、インドネシアで下水道の維持管理に必要な当社製品の普及を目指し、現地調査を行いました。

インドネシアは、急速な経済成長を遂げる一方、下水道普及率はASEAN各国と比較しても低水準にあります。都市化の拡大と並行して下水道の建設が進んでおり、維持管理に必要な清掃機材の需要が今後高まると予想されています。

現地では、機材不足に加え、機械の老朽化、性能不足、また大型車両のため、狭あい道路に入らない等の問題があることを確認しました。当社の製品を導入いただくことで諸問題を解決し、現地の人々の衛生面における生活環境の改善に貢献していきたいと考えています。



下水道行政関係者との面談・協議



下水道管きよ清掃作業の視察

●2024 NEW環境展

2024年5月22日～24日にかけて、東京ビッグサイトにて開催された「2024 NEW環境展」に出展しました。今回の出展では、EV吸引作業車と2トン高圧洗浄車の2台を展示し、ブースデザインには伝統木工である組子細工のシックな装飾を取り入れました。600人以上のブース来場者に、当社製品をアピールできました。



組子細工を生かしたブース



ブース全体の様子

●新しい時代へ向けた取組

当社では、来たる時代に即した企業倫理の構築に向けて、新たな取り組みを積極的に行っています。

前期からの取り組み事項として、ストレスチェック受検の呼びかけや、ヘルスリテラシー向上セミナー実施等の活動が評価され、2024年3月、「健康経営優良法人2024」に認定されました。

また、SDGsの理念に基づいた目標の下、「こうちSDGs推進企業」にも登録しています。環境・社会・経済の3点から世界に貢献できる企業を目指し、これからも健全な企業運営を続けていけるようまい進してまいります。



健康経営優良法人 ロゴマーク



こうちSDGs推進企業 ロゴマーク

会社の概要

設立年月日	1971年9月1日
資本金	313,700,000円
従業員数	268名
事業内容	強力吸引作業車、高圧洗浄車等 環境整備機器の製造販売

役員

代表取締役社長	山本 琴一
代表取締役専務	柳井 仁司
常務取締役	北村 和則
社外取締役	長山 育男
社外取締役	十川 智基
常勤監査役	中野 守康
社外監査役	高芝 貴彦
社外監査役	岩田 誠

事業所

本社	〒781-5101 高知市布師田3981-7 TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-5211
テクノベース	
生産技術センター	〒781-8130 高知市一宮4786-34 TEL (088) 820-2900 FAX (088) 820-2440
検査出荷センター	〒781-8130 高知市一宮4786-33 TEL (088) 820-2907 FAX (088) 820-2447
東日本支社	
東東京支店/ 西東京支店	〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町20-1 アンソレイエ・オオタ6F・8F TEL (03) 3667-7330 FAX (03) 3667-7333
東北・北海道支店	〒982-0012 仙台市太白区長町南4-12-27 NS泉崎2F TEL (022) 248-2991 FAX (022) 248-2995
札幌営業所	〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東1-3-23 山勇ビル5F TEL (011) 893-0861 FAX (011) 893-0860
名古屋支店	〒462-0013 名古屋市中区東味鏡1-702 TEL (052) 902-5538 FAX (052) 902-5525
西日本支社	
大阪支店	〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2-2-43 TEL (072) 653-1136 FAX (072) 653-1350
中四国支店	〒739-0026 広島県東広島市三永2-8-16 太田ビル1F TEL (082) 426-2131 FAX (082) 426-2133
四国営業所 (本社内)	〒781-5101 高知市布師田3981-7 TEL (088) 845-5511 FAX (088) 845-8844
福岡支店	〒810-0001 福岡市中央区天神3-10-1 天神源氏ビル6F TEL (092) 761-7761 FAX (092) 761-7760

株式の状況

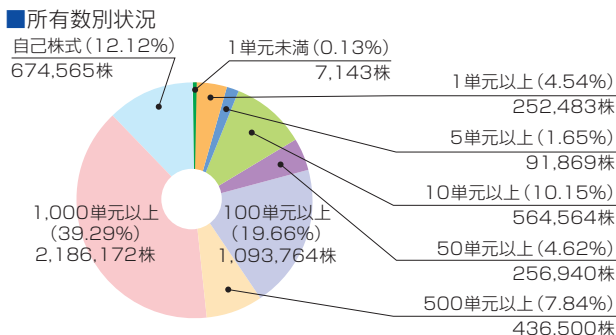
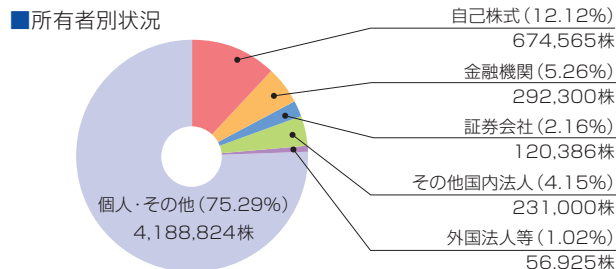
会社が発行する株式の総数 17,576,000株
発行済株式の総数 4,889,435株
(自己株式674,565株を除く)

株主数 2,613名
大株主

株主名	持株数	持株比率
山本 琴一	475,400株	9.72%
兼松エンジニアリング従業員持株会	366,300株	7.49%
三谷 公男	319,420株	6.53%
山口 隆士	303,532株	6.21%
山本 吾一	262,860株	5.38%
柳川 裕司	197,860株	4.05%
株式会社四国銀行	152,100株	3.11%
坂本 洋介	108,700株	2.22%
三谷 仁男	97,500株	1.99%
佃 維男	71,700株	1.47%

(注) 1.当社は、自己株式(674,565株)を保有しておりますが、上記表には記載しておりません。
2.持株比率は、自己株式(674,565株)を控除して計算しております。

株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日(中間配当を行う場合は毎年9月30日) その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座をご利用でない株主様は、下記電話照会先までご連絡ください。なお、お手続き方法やよくあるご質問は、下記「よくあるご質問(FAQ)」サイトでご確認いただけます。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00(土日休日を除く)

(インターネットホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

(よくあるご質問(FAQ)) https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先にお問い合わせいたします。

公告方法 電子公告(当社ホームページ URL <http://www.kanematsu-eng.jp/>)
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

上場証券取引所 東京証券取引所スタンダード市場

K&E 兼松エンジニアリング株式会社

KANEMATSU ENGINEERING CO.,LTD.

本社 〒781-5101 高知市布師田3981番地7
TEL.(088)845-5511 FAX.(088)845-5211
<http://www.kanematsu-eng.jp/>



当社HP



このビジネスレポートは、環境に配慮し、再生紙と植物油インキを使用しております。